

平成25年度(2013) 松江少年少女発明クラブ活動計画(案)

月	日	活動タイトル	活動予定案	活動目的	活動内容	指導	場所
4	27	開講式 ペットボトルロケットの作成	開講式 ロケットが飛ぶしくみを考えよう ～ペットボトルロケットを作ろう～	1) 当該年度開講式を行い、発明クラブの目的を確認し合う 2) 身近な素材であるペットボトルからロケットを作成し、工作の楽しさ、工夫の必要性和科学の奥深さを体感する	・サイエンスクラブの目標、規則の説明 ・オリエンテーション ・作り方・工夫の仕方	周藤 今岡	エステック株
5	25	化石取り	昔の生きものを探しに行こう ～日本列島の成り立ちをよみとく～	1) 地域の地質資源を有効に活用し、自然観察眼を育てる 2) 物づくりとは違ったマクロ的な視点で、時空・事物を読み解く能力を育てる	・松江市古浦海岸に淡水性の化石を採取 ・地球・日本列島の成り立ちを考える	新宮	松江市古浦 海岸
6	22	親子ふれあい工作Ⅰ	作って学ぼう	1) 課題工作を通し、様々な工作技法を習得する 2) 工作技法習得によって、参加者にすでに持っているイメージや設計の具現化に寄与する		根山	ポリテクセンター 島根
7	27	光の不思議	虹を作ってみよう	光の3原則を学び、キットを使って虹を見てみます	・光について考えてみます	竹下	エステック株
8	3	篠笛を作ってみよう	「音の科学 ～楽器のしくみを探ろう～」	1) 音の不思議を勉強する		高須	スティックビル
8	24	ペットボトルロケット 打上げ大会	ペットボトルロケット打上げ大会	1) 年度当初に作成したペットボトルロケットを各自改良し、打上げ大会に出場 2) 記録の善し悪しに関わらず、人それぞれの工夫や知見を吸収し、同じ課題を核としたコミュニケーションを促すことで参加者の応用力の向上につなげる	・松江市のペットボトル打上げ大会に参加	今岡	市営グラウンド
9	28	松江城の石垣ツアー	建造物を訪ねよう ～松江城の石垣はどこの石?～	1) 過去の大きな建造物の構造を観察し、そのしくみや工夫を知る 2) 石材という素材に着目し、そこから学び得る地質学的知見や物流を含む経済活動についてなど多角的な学びを得る	・松江城で使われている石垣を調べる	新宮	松江城
10	26	生き物のものさし	生き物をすがた・かたちから学ぼう ～「環境のものさし」って?～	1) 水辺の生物に、自ら触れ・探し・捕まえ、スケッチしてみる 2) 生き物の姿や形から、「水辺環境が分かる」ことを実感する	・水辺の生物に触れ、よく観察する (実体望遠鏡+観察ソフトの借用を希望)	櫛谷	未定 (松江市内の川辺を予定)
11	23	エネルギーの話	エネルギーって何だろう ～私たちの社会について考えよう～	1) 抽象的な概念として使用される「エネルギー」という文言について、具体的な実験や体験を通じ理解する 2) 各自の発明のヒントになる「動力源」の多様性について学ぶ	・いろいろな種類のエネルギーについて学ぶ ・ソーラーカーを組み立てる ・パワーポイント、実験用機材使用	竹下	エステック株
12	21	もし目がみえな かったら 触地図の製作	様々な立場から発明しよう ～触地図作りで考える発明者としての視点～	1) ユニバーサルデザインという考え方を知り、より多くの人々が心地よく使えるデザインと機能について学ぶ 2) 触地図作りを通し、触覚から得られる情報について再発見する	・目が見えない人に来ること ・自分の家から避難所までの経路	三輪	エステック株
1	25	親子ふれあい工作Ⅱ	作って学ぼう	1) 課題工作を通し、様々な工作技法を習得する 2) 工作技法習得によって、参加者にすでに持っているイメージや設計の具現化に寄与する		根山	ポリテクセンター 島根
2	22	発表会準備	プレゼンテーションを学ぼう ～アイデアを多くの人に伝えるコツ～	1) これまでの活動を振り返り、発表会の準備とその計画を参加者が協力して行う 2) 最終回の発表会に向けてプレゼンテーション技術について学び、目的に応じた効果的なアピール方法を習得する	・一年間の製品を展示するため、模造紙、パネル等に活動を書き点字の準備をする ・アピールの仕方を工夫する	周藤 前田	スティックビル (3時間を予定)
3	8	発表会	発表会	発表会を行い一年間の活動を総括する	・発表会を開き、来客に自分の活動を説明 ・発表する能力を養う	周藤 前田	スティックビル (90分を予定)

注1) 講師、天候、その他の都合により変更することがあります。注2) 松江少年少女発明クラブとしての行事の追加があります。

